

平成 24 年 10 月 19 日

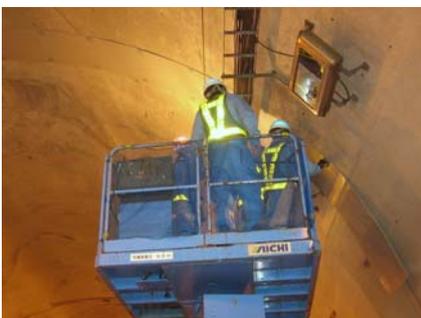
施工容易なトンネルはく落防止対策工法を開発

難燃性ポリプロピレン中空プレートパネル

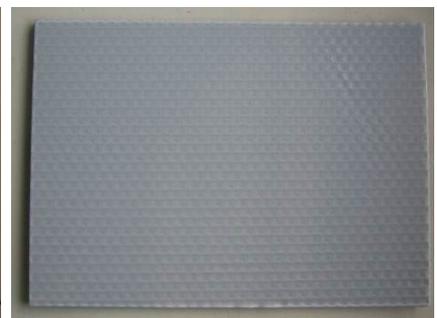
西日本高速道路メンテナンス九州株式会社・鉄建建設株式会社・宇部日東化成株式会社の3社は、トンネルのはく落対策工事の補修工法として**SCプレート工法**を開発し（特許出願済み）、このたび、長崎自動車道のトンネルにおいて試験施工を行いました。

これは難燃性のあるポリプロピレン製の中空プレートを、アンカーにて取り付けるだけで、容易にはく落対策が出来る工法です。部材がパネル状のため、簡単な加工でトンネル下面に導水できる効果もあります。試験施工では、ボード自体軽量で適度なしなやかさを持っているため、トンネル覆工面へのボード取付け作業が容易である事が確認でき、従来工法より工期短縮が見込めます。SCパネルの形状としては：厚さ約5mm、幅600及び1000mm、標準長2mとなっており、特注で長さ3mまで対応可能です。

また、材料もNEXCO3社が規定している、トンネル施工管理要領の試験（変位量・延焼性・ガス有害性）にも適合しています。



試験施工状況写真（パネル取付・アンカー打設）



SCプレート詳細写真（平面）

お問い合わせは